

屋内の子どもの遊び場整備基本計画

1 屋内の子どもの遊び場整備の基本的事項

■基本計画策定の目的

近年の猛暑や地域の空き地の減少、子どもたちが天候に左右されずのびのびと遊べる場を求める声の高まりなどを受け、旧温水プールを再利用した屋内の子どもの遊び場を整備します。屋内の子どもの遊び場は、体力増進機能として思い切り体を動かせる空間をもち、子どもの創造性を育む魅力的な遊びを通じて、誰もが繰り返し足を運びたいと思える施設とします。また、子どもたちの健全な成長と発達を促進するだけでなく、日本一子育てしやすいまちをめざす本市の魅力向上や活性化に寄与します。

屋内の子どもの遊び場を整備するに当たり、必要な規模、導入する機能等を明らかにするため、「屋内の子どもの遊び場整備基本計画」を策定します。

■子どもの意見

利用者である子ども達自身の声を反映できるよう、令和5年度（2023年度）から6年度（2024年度）にかけて、市内小学5年生及び中学2年生へのアンケート、こども未来会議やオンライン意見箱による意見聴取、市内児童館でのインタビューを行いました。その結果、「夏の暑い日や雨の日でも身体を動かして遊べる場所が欲しい」「ボール遊びがしたい」「冷房が効いている部屋でボルダリングやトランポリンがしたい」など多くの意見が集まり、屋内の遊び場への高いニーズや、子ども達自身が求める遊び場の内容が明らかになりました。建設にあたっては、こども・子育て会議をはじめ、若者や子育て当事者など子どもに関わる方からさらなる意見を聞く場を設け、より良い遊び場の実現に向けて取り組みます。

■基本コンセプト

「未来を豊かにする力を育む遊び場」
～みんなが笑顔になれる環境づくり～

東海市こども計画では、基本理念として「こども・若者とその家庭をしあわせに」を掲げています。この基本コンセプトは、東海市こども計画の基本目標である「良好な成育環境の整備」に基づき、基本施策の「居場所づくりの推進」及び「豊かな体験や活躍の場の充実」を図るもので、この遊び場を通じて子どもたちが健やかに成長し、家庭全体のしあわせを向上させることを目指しています。

■メインターゲット

年中児～小学校中学年



■基本方針

- 既存施設の特性を活用した全天候型の遊びの空間
- 子どもたちが体を動かして遊び成長できる施設
- 家族で満足できる施設
- 繰り返し通いたくなる魅力的な遊びの提供

○既存施設の特性を活用した全天候型の遊びの空間

以前は50mプールとして利用されていた広大な空間を活用し、高い天井と広がりを最大限に利用して、子どもたちが思い切り体を動かし、上下左右に立体的に遊ぶことができる場所を作ります。広大なスペースを生かすことで、のびのびとした自由な遊びが展開され、子どもたちの創造力と体力を伸ばす環境を提供します。また、隣接する芝生広場や大池公園もあわせて利用することで、屋内外でゆるやかな広がりのある遊びが季節を問わずに展開できます。さらに、らんらんバスや十分な駐車スペースを活かし、親子が集まる遊びの拠点とします。

○子どもたちが思いきり体を動かして遊び成長できる施設

年中児から小学校中学年程度までの子どもをメインターゲットとし、遊びを通じて基礎的な運動能力の向上を図るため、自然と体を動かしたくなるような多様な遊具や運動エリアを設け、跳ぶ、走る、登るなど全身を使う遊びを楽しめる環境を整備します。

また、友だちと協力しながら遊ぶことで、コミュニケーションや社会性を育むことも目的としています。クッション性のある床材の採用や、適切なゾーニングをはじめ、安全面に配慮した設計を行うとともに、様々な子どもの発達段階に応じた遊具の設計を行い、誰もが夢中になって遊べるインクルーシブな空間を目指します。

○家族で満足できる施設

親子が一緒に楽しめる設備や、異なる年齢層の子どもたちが一緒に楽しめるエリアや遊びの工夫を取り入れています。また、保護者がリラックスして過ごせる休憩スペースや子育てに関する情報提供コーナーを設置し、大人も子どもと一緒に過ごす時間を心から楽しむことができる施設とします。

○繰り返し通いたくなる魅力的な遊びの提供

多彩な遊びやプログラムを定期的に行うなど、訪れるたびに新しい発見や楽しさを感じられる体験を創出します。また、チャレンジできる遊びによって、達成感や成長を感じられる機会を提供します。

安全で快適な環境を整え、何度でも来たくなるような居心地の良さを追求し、家族や友人と一緒に繰り返し訪れたくなる施設を目指します。

2 施設計画

■諸室計画

総合計 1,600 ㎡

現在検討しているそれぞれの主な機能は次のとおりです。

○アクティブゾーン（1,000 ㎡）

諸室名	想定面積	機能内容
立体遊具エリア	400 ㎡程度	概ね6歳以上対象。高い天井高を活かした立体遊具で構成された区画。上下左右に展開した空間で、滑る、くぐるなど、様々な体の動きを体験できる。
ボールエリア	200 ㎡程度	ネット仕切り、ボルダリング、スラックラインを設置し、来所者のニーズにあわせて、ボール遊びを始めチャレンジングな遊びを展開できる。
プレイエリア	200 ㎡程度	概ね3歳～6歳対象。長い距離を確保し、低年齢の子どもが安全で自由に走り回れる区画。
キッズエリア	200 ㎡程度	概ね0歳～3歳対象。低年齢のきょうだい児が保護者と安全に過ごせる区画として床面を自由に動ける空間とする。低年齢向け遊具を設置。

○リラックスゾーン（250 ㎡）

諸室名	想定面積	機能内容
休憩エリア	250 ㎡程度	遊んだ子どもがクールダウンしたり親子でくつろいだりすることできる区画。フラットなスペースのほか、テーブルと椅子を配置し飲食に対応。
情報コーナー	－	地域のイベントや子育てに役立つ情報、各種サービスの案内を提供。

○ひらめき体感ゾーン（230 ㎡）

諸室名	想定面積	機能内容
ワークショップ室A	90 ㎡程度	小集団の教室や講座、ワークショップが開催できる部屋。発明クラブ等の利用も想定。
ワークショップ室B	90 ㎡程度	小集団の教室や講座、ワークショップが開催できる部屋。発明クラブ等の利用も想定。

○管理機能（120 ㎡）

諸室名	想定面積	機能内容
事務所	60 ㎡程度	スタッフルーム
多機能室	30 ㎡程度	授乳室及び救護用静養室



3 施設整備計画

長く子どもたちや家族に愛され、安心して利用できる屋内の遊び場とするため、子どもや若者、子育て当事者の意見を聴くとともに、多様性や将来のニーズの変化にも対応できる使いやすい施設を目指します。また、旧市営温水プールを再利用することで、持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みやゼロカーボンの推進に配慮します。

子どもたちが健やかに成長し、家族全体で楽しい時間を過ごせる魅力的な遊び場を整備します。

【敷地概要】

敷地面積 4,029.17 ㎡
用途地域 第一種住居地域
建蔽率 60％ 容積率 200％
防火地域 第22条区域
宅地造成工事規制区域 区域外
砂防指定地 区域外

【既設建物の概要】

施設名 温水プール
構造 鉄筋コンクリート造
延べ床面積 2,911.40 ㎡
竣工 昭和56年3月

4 管理運営計画

適正なハード管理とともに、ソフト事業の推進が可能な施設管理運営体制を整えます。

運営方式については、民間のノウハウを生かした事業展開や施設運営を行うため、指定管理制度を導入します。施設の利用状況や事業の実施状況を踏まえ、経費的にもバランスの取れた適切な管理運営を行います。

5 整備スケジュール

